上顎骨に発生した単純性骨嚢胞が疑われた１例

国立病院機構　三重中央医療センター

歯科口腔外科

◯加納慶子、乾眞登可、若林宏紀、柳瀬成章

単純性骨嚢胞は長管骨に好発し顎骨には少ない．今回，上顎骨に発生し本症が疑われた１例を経験したので報告する．患者は４８歳，男性，左右上顎１は失活し，CTで左右上顎１歯根から鼻口蓋管に透過像を認めた．顎骨嚢胞の臨床診断にて摘出術を施行，嚢胞壁は薄く被膜様だった．病理組織学的所見:嚢胞壁は線維性組織で，一部に上皮がみられた．